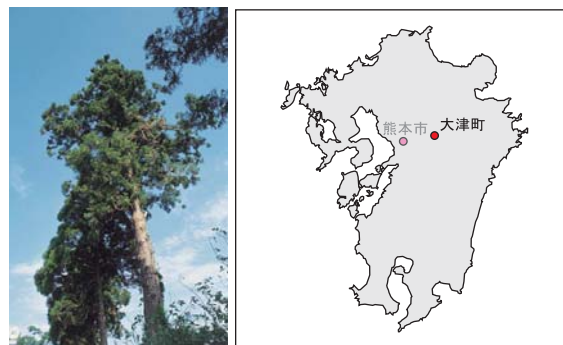


所在地
 熊本県大津町
 キーワード
 サインデザイン

写真
 上中／大津街道の杉並木
 右上／製作途中の様子
 右中／製作完了時
 右下／現場設置後（照明有）
 左下／現場設置後（照明無）



概要

このサインは、昨年度の「社会基盤設計演習」でのWSの流れを引継ぎ「大津ものづくりの会」が製作を発案、県建築士会熊本東支部会員や町商工会が協力し、実現しました。材料となった杉板は、大津街道杉並木の台風による倒木で、樹齢400年ほどのものです。

当研究室の担当は、デザインと製作のお手伝いです。星野助教授のアドバイスのもと、形の検討を行い提案しました。また、プロの方々の傍らで製作に参加、塗装、現場設置に同行という内容でした。

3基のうち1つは、ソーラーライトによる照明を仕込み、ほのかな灯りがこぼれる仕様となっています。他の2期は、丸い穴をあけ、鉢植えの花を掛けたり、街の情報メモを貼ったり、まちの人々に使われることを考慮したデザインとなっています。

まちの歴史を活かし、さらに生活する人々に生かされる、1つの形を実現できたのではないのでしょうか。



(2007.02作成)

担当者 星野裕司, 毛利洋子
 備考

景観デザイン研究室
 Hoshino Lab, Kumamoto Univ